

「アフリカのきれいな街プラットフォーム」 第1回年次会合がモロッコにて開催

平成29年4月、環境省・JICA・横浜市がアフリカ24か国等と共同で、アフリカの廃棄物問題の解決に向けた「アフリカのきれいな街プラットフォーム」を設立しました。

本市は、これまでの廃棄物管理の知見・経験や先進的な技術が評価され、本邦研修の拠点として位置づけられており、平成30年2月には、アフリカの廃棄物管理部門の行政官を招聘し、第1回目の研修を実施しました。

今回、モロッコ・ラバトで、プラットフォーム第1回年次会合が開催され、本市から福山資源循環局長が参加し、2月に実施した横浜研修について報告します。

また、平成30年度は本邦研修を2回実施する予定となっており、これらを通じ、平成31年の第7回アフリカ開発会議（TICAD7）横浜開催に向け、廃棄物分野でのアフリカとの連携・協力を一層深めていきます。

1 第1回年次会合概要

(1) 日程

平成30年6月26日（火）～28日（木）

(2) 場所

モロッコ・ラバト（モロッコ内務省講堂）

(3) 共催

モロッコ内務省、モロッコ外務国際協力省、モロッコ持続的開発庁、環境省、JICA、UNEP、UN-Habitat、横浜市

(4) 会合プログラム（予定）



「アフリカのきれいな街プラットフォーム」ロゴ

日にち	内 容
6月26日（火）	モロッコにおける廃棄物管理
27日（水）	SDGsのデータ収集と公民連携 ※横浜市コメント（最終処分場）
28日（木）	アフリカの廃棄物管理向上のための資金調達と「アフリカのきれいな街プラットフォーム」アクションプラン ※横浜市（福山資源循環局長）スピーチ

2 本邦研修概要

(1) 実施日程（予定）

2回実施（平成30年8月、平成31年2月 滞在期間は各21日間）

(2) 参加者（予定）

アフリカ各国の主要都市で廃棄物管理に携わる行政官（局長クラス） 各回10名程度

お問合せ先			
（第1回年次会合に関すること）	資源循環局政策調整課担当課長	木村 利恵	Tel 045-671-4567
（アフリカとの連携に関すること）	国際局国際連携課長	富岡 典夫	Tel 045-671-4719

※本件は環境省、JICA と同時発表しています。

裏面あり

【参考】

1 アフリカのきれいな街プラットフォーム概要

ミッション：2030年までにアフリカ諸国がきれいな街と健康な暮らしを実現し、廃棄物に関するSDGsを達成する。

目的：アフリカ各国・都市における廃棄物に関する知見・経験の共有、関係者のネットワーキング等

構成員：アフリカ各国・都市（2018年6月末時点で31か国60都市）、環境省、JICA、横浜市、国連環境計画（UNEP）、国連人間居住計画（UN-HABITAT）等

2 アフリカに関するこれまでの取組

平成28年8月 第6回アフリカ開発会議（ケニア・ナイロビ）でのJICAサイドイベント「廃棄物管理セミナー」にて、林市長がスピーチ

平成29年4月 駐日アフリカ各国大使館が鶴見工場及び鶴見資源化センターを視察

平成29年4月 「アフリカのきれいな街プラットフォーム」設立準備会合（モザンビーク・マプト）に出席し、本市の取組を発表

平成29年5月 モザンビーク・マプト市長が鶴見工場及び鶴見資源化センターを視察

平成29年8月 TICAD閣僚会合（モザンビーク・マプト）で環境省が主催した「アフリカのきれいな街プラットフォーム」に関するサイドイベントにて、本市の取組を発表

平成29年9月 コートジボワール・アビジャン自治区知事が横浜市を訪問し、横浜・アビジャンの交流協力共同声明を発表

平成30年2月 第1回本邦研修の実施

平成30年2月 モザンビーク・マプト市最終処分場崩落事故への支援として本市職員を派遣

平成30年4月 交流協力共同声明に基づき開催された都市課題解決経験共有セミナー（コートジボワール・アビジャン自治区）にて、本市の取組を発表

3 平成30年2月本邦研修実施概要

日程：平成30年2月1日（木）～2月23日（金）

参加者：コートジボワール、スーダン、ナイジェリア、南スーダン、レソトの中央省庁及び主要都市の廃棄物管理行政官 9名

主な内容：開講式、横浜市の廃棄物管理の講義、廃棄物処理施設の視察、学校訪問による子どもたちとの交流、民間企業とのビジネスマッチング

使用言語：英語



廃棄物処理施設（金沢工場）での講義



中学生（市ケ尾中学校）との文化交流